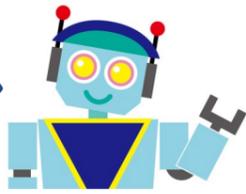


科学館ニュース



DENZA環境科学館

検索



(☎0143-22-1058)

『遠心力』ってどんな力?

えんしんりょく

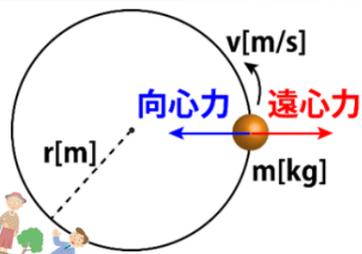
Q. 水平だった水が、男の子がハンドルを回すスピードを上げるにしたがい、水の真ん中がどンドンへこんでしまいました。さていったいどうしてなのでしょう?

A. 水の真ん中がへこむのは、回転させることで『遠心力』がはたらくためなのです。遠心力は、回転するスピードが速いほど、また、回転しているものが重いほど、その力は大きくなります。

▲回る水槽

展示室紹介

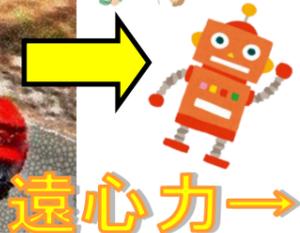
▲遊園地などにある「ループコースター」が宙返りするとき下に落ちないで回れるのも遠心力があるからです。



←物が回転しているとき、回転させるための力が中心に向かってはたらいっています。これを向心力(こうしんりょく)といいます。

←実は、地球も自転(回転)しているので地上にいる私たちには、とても小さいですが、遠心力が働いているのです。遠心力が大きかったら人間はみんな宇宙に飛ばされてしまいます。

←スピードが出ているとき、走っている車がカーブに差しかかると、体がカーブの外側に引っ張られることがありますね。カーブも円の一部なのでこの力は、まさに遠心力なのです。



たなばた 七夕のお話は プラネタリウムで



天の川をはさんで別々に暮らす織姫と彦星が、一年に一度だけ会うことができる『七夕』が近づいてきました。

七夕伝説は、もともと中国から伝わってきましたが、時代とともに七夕の行事内容も変わってきています。

織姫にちなんで縫い物が上手になるという言い伝えに沿った催しや、笹の葉に願い事を書いた短冊を飾る習慣などは江戸時代にかけて盛んになったとされています。

全国的に七夕祭りは7月7日に開催されることが多いですが、近年は国立天文台などを中心に『伝統的七夕の日』として、旧暦の7月7日(2024年は8月10日)に全国の天文台などで星空観望会などが開かれています。



6月のスポットサイエンス

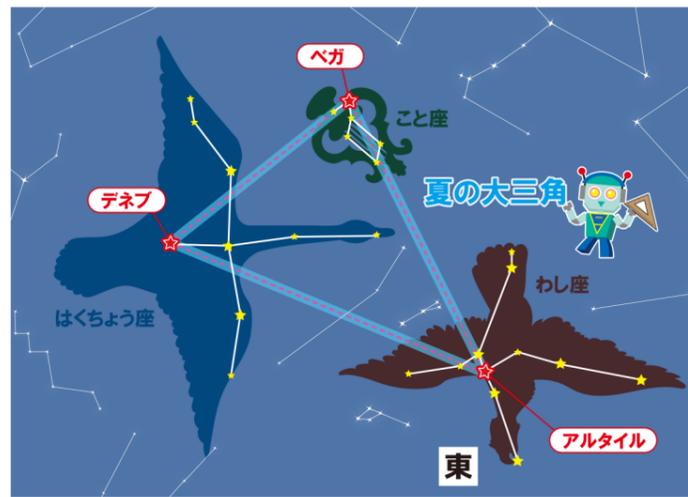
開催日	プログラム
1日(土)	工作『スライム』
2日(日)	実験 空気の力と段ボール空気砲
8日(土)	実験 デンプンと消化
9日(日)	実験 アンモニア噴水
15日(土)	工作 お魚ゆらゆら
16日(日)	工作 くるくるカタツムリ
22日(土)	ロボット・サッカー
23日(日)	工作 七夕飾り
29日(土)	エコ教室 ショー科学の紙芝居
30日(日)	工作 プラ板作り

▼6月のちよこっと工作 『くるくるたね』

・平日: 13:30~16:00

・土日祝: 10:00~11:30、13:30~16:00

※開催時間などくわしくは、当館ホームページをご覧ください。



こと座のベガ、わし座のアルタイル、そしてはくちょう座のデネブ。この3つの1等星を結んでできる三角形を『夏の大三角』といい、他の星や星座を探す大切な目印となります。プラネタリウムでは、6月から夏の大三角について紹介しています。

ベガは織姫星でアルタイルは彦星です。天の川上空を羽ばたく白鳥は、国によっては、大雨で天の川が増水して七夕に織姫と彦星が会えなくなりそうなときにサポートする、カササギとして描かれることがあります。

6月のプラネタリウムは夏の星座紹介と、13:30の回が七夕のお話の動画、15:00の回(土日は11:00も)は、天の川伝説などを紹介する『銀河の渚で』を投影します。